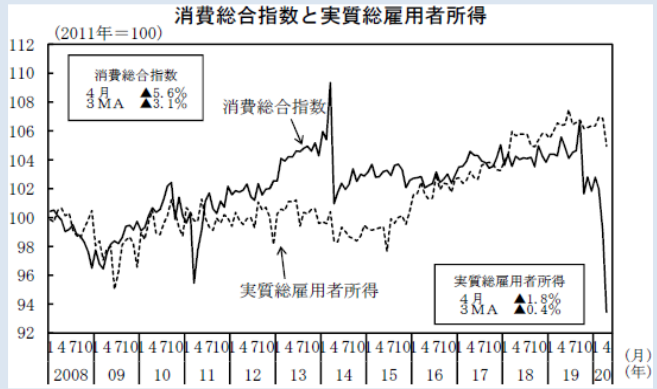


月例経済報告（2020年6月）

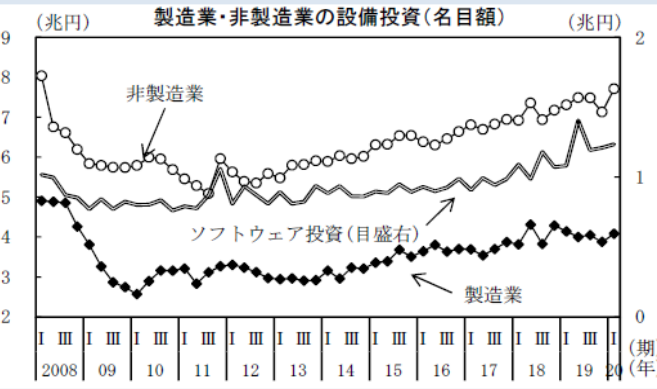
● 月例経済報告（6/19）

基調判断	(6月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。 感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(5月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

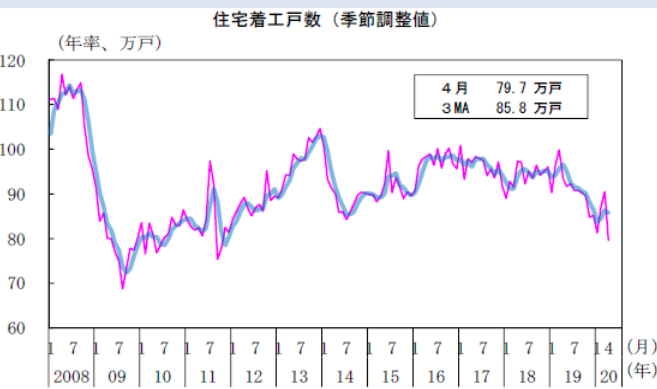
個人消費	(6月) <u>緊急事態宣言の解除に伴い、このところ持ち直しの動きがみられる。</u>
	(5月) 感染症の影響により、急速な減少が続いている。



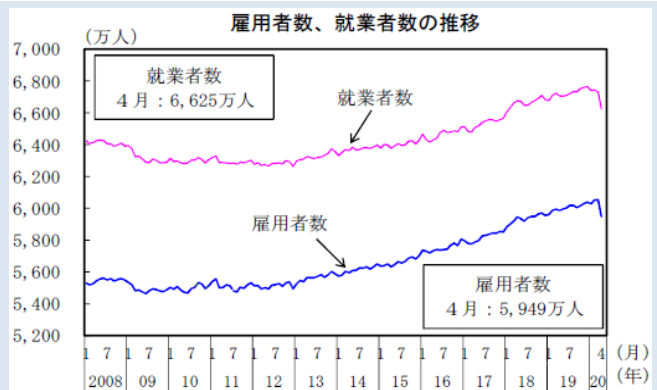
設備投資	(6月) このところ弱含んでいる。
	(5月) このところ弱含んでいる。



住宅建設	(6月) 弱含んでいる。
	(5月) 弱含んでいる。



雇用情勢	(6月) 感染症の影響により、 <u>弱い動きとなっている。</u>
	(5月) 感染症の影響により、弱さが増している。



<p>生産</p>	<p>(6月) 感染症の影響により、減少している。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移</p>																								
	<p>(5月) 感染症の影響により、減少している。</p>																									
<p>輸出</p>	<p>(6月) 感染症の影響により、急速に減少している。</p>	<p>地域別輸出入数量指数</p> <table border="1"> <tr> <td>EU</td> <td>5月</td> <td>▲8.1%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲11.1%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>5月</td> <td>▲19.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲18.1%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>5月</td> <td>▲5.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲4.6%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>5月</td> <td>▲9.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA</td> <td>▲9.9%</td> </tr> </table>	EU	5月	▲8.1%		3MA	▲11.1%	アメリカ	5月	▲19.6%		3MA	▲18.1%	アジア	5月	▲5.3%		3MA	▲4.6%	全体	5月	▲9.5%		3MA	▲9.9%
EU	5月	▲8.1%																								
	3MA	▲11.1%																								
アメリカ	5月	▲19.6%																								
	3MA	▲18.1%																								
アジア	5月	▲5.3%																								
	3MA	▲4.6%																								
全体	5月	▲9.5%																								
	3MA	▲9.9%																								
	<p>(5月) 感染症の影響により、急速に減少している。</p>																									
<p>国内企業物価</p>	<p>(6月) 下落している。</p>	<p>企業物価の推移</p>																								
	<p>(5月) 下落している。</p>																									
<p>消費者物価</p>	<p>(6月) 横ばいとなっている。</p>	<p>消費者物価の推移</p>																								
	<p>(5月) 横ばいとなっている。</p>																									
<p>海外経済</p>	<p>(6月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(5月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められているが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																									